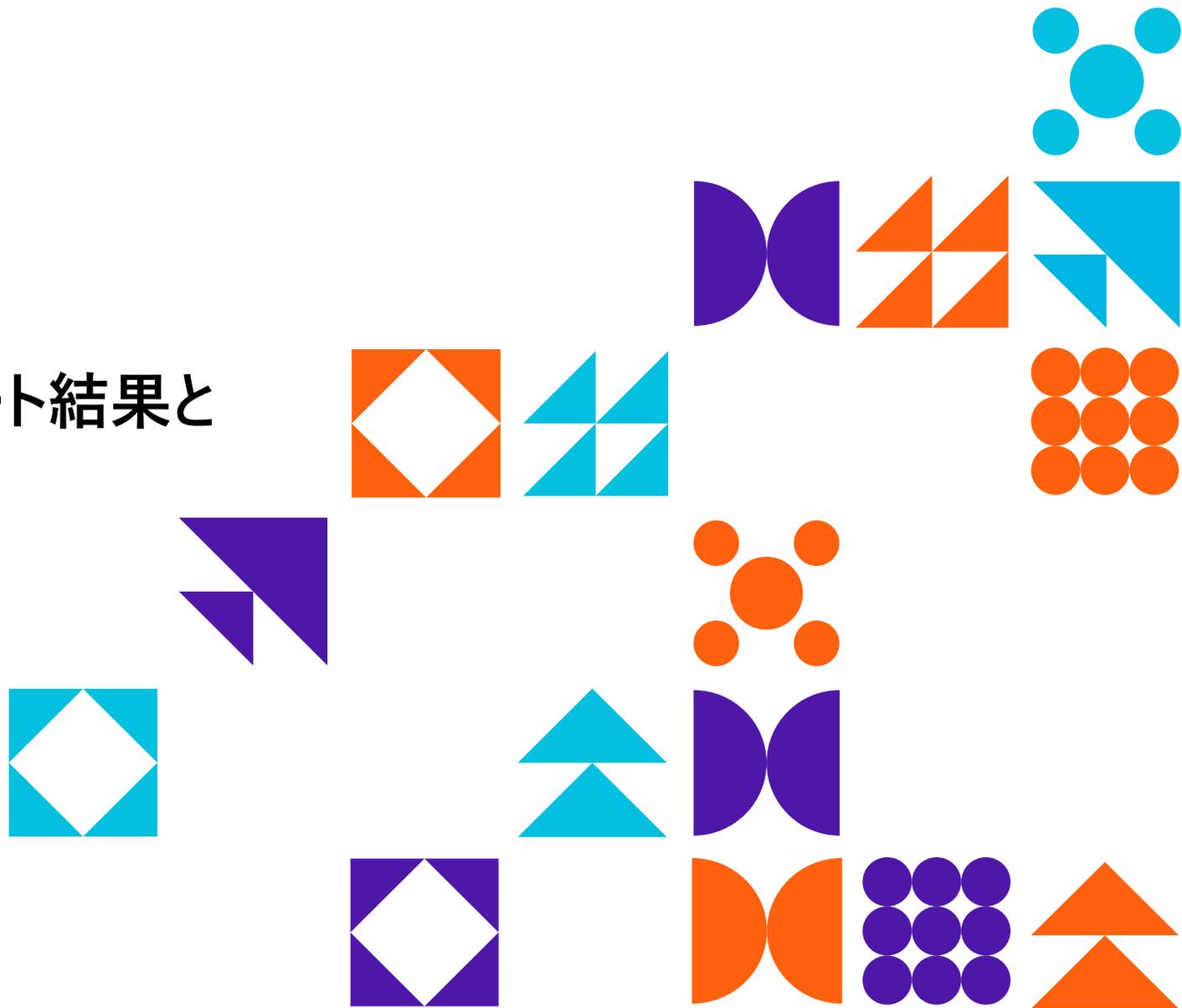


# 2022年度法人スポンサー・アンケート結果と 2023年度プログラムへの反映



# 目次

- I . 2022年度法人スポンサー・アンケートについて
- II . 2022年度法人スポンサー・アンケート集計結果
- III . 2023年度法人スポンサープログラムへの反映

# I . 2022年度法人スポンサー・アンケートについて

- 1 . 2022年法人スポンサープログラムについて法人スポンサー企業112社にお願いし、59社からの回答を得ることができた
  
- 2 . 主たるアンケート項目
  - 1) 法人スポンサー企業のプロフィール、窓口ご担当部署のミッション
  - 2) PMI日本支部プログラムへの参加状況
  - 3) 2021年法人スポンサープログラムの有効度
  - 4) 法人スポンサープログラム各種案内の社内展開について
  - 5) 法人スポンサープログラムへの期待
  - 6) 貴社が関心を持っているPMI標準、PMI資格
  - 7) 貴社PMOについて
  - 8) 貴社におけるPMIタレント・トライアングル™の重要性  
(働き方領域、パワースキル領域、ビジネス感覚領域)
  - 9) 貴社がフォーカスしたいPMI/PMIJのホットエリア
  - 10) 法人スポンサープログラムの満足度、貴部門ミッション達成に必要なPMI日本支部の支援
  
- 3 . 本報告はアンケート集計を分析し、法人スポンサー企業の要望を2023年度法人スポンサープログラムに反映、実施するための基礎資料とするものである

# 2022年度法人スポンサープログラム (1/2)

## ①2022年度実施スケジュール



# 2022年度法人スポンサープログラム (2/2)

## ②2022年度実施プログラム

※2022年度より多くの方にご参加いただくため、オンデマンド配信実施（期間：1週間）

2022年度	法人スポンサー連絡会				PM部門長	SG（年間計画外）
実施日	3月度連絡会 3/23（水）	6月度連絡会 6/22（水）	9月度連絡会 9/14（水）	12月度連絡会 12/1（木）	PM部門長セミナー 5/26（木）	SG成果発表会 4/26（火）
申込者	133名	153名	137名	129名	103名	35名
特集内容	<p>新しいPMP®に求められるもの 講演1. 変革期のプロジェクトマネジメント～PMI 4.0の論理から読み解く日本企業が取り得るアプローチ～講師：端山 毅氏</p> <p>講演2. 変革における組織的プロジェクトマネジメント 講師：池田 修一氏</p>	<p>PMBOK®ガイド第7版紹介 講演1. PMBOK®ガイド第7版はどう変わったか 講師：鈴木 安而氏</p> <p>講演2. PMBOKセミナープログラム活動紹介 講師：高田 善教氏</p>	<p>アジャイル実践と活用 講演1. ディシプリンド・アジャイルとは何か ～DA最新情報とDAコミュニティ活動紹介～ 講師：水井 悦子氏、佐藤 美一氏</p> <p>講演2. アジャイル研究会のご紹介 講師：和良品 文之丞氏</p>	<p>新たなPM層の開拓について 講演1. 女性コミュニティのご紹介 ～女性プロマネの活躍が当たり前になる社会を目指して～ 講師：小川原 陽子氏</p> <p>講演2. 未来創造プログラム活動のご紹介 ～若手の活性化から組織の活性化へ～ 講師：谷口 和行氏</p> <p>SG活動報告 ①人材育成SG 講師：野元 英幸氏 ②若手PM育成SG 講師：高橋 勝哉氏 ③ケースメソッドSG 講師：翠川 賢太郎氏</p>	<p>経営者視点でのプログラムマネジメント 講演1. 変革を実現するプログラムマネジメント／DX時代をリードする上級PMの育て方 講師：アンリ近藤氏</p> <p>講演2. PMI日本支部 ポートフォリオプログラム研究会 紹介 講師：原啓子氏</p>	<p>SG相互理解による自SGへのフィードバックを目的とした合同の成果物発表会</p> <p>①人材育成SG ②若手PM育成SG ③ケースメソッドSG</p> <p>・成果物発表 ・Breakoutセッション</p>

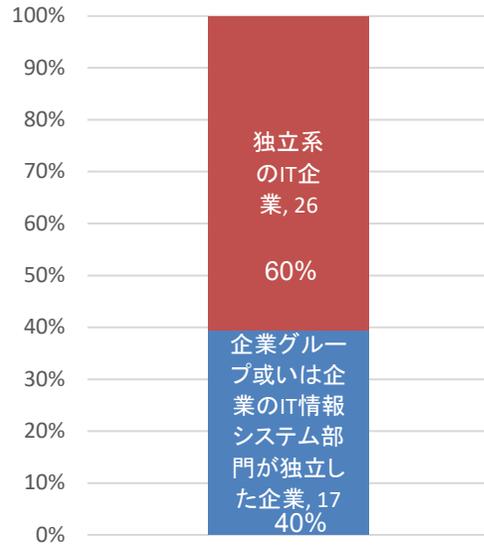
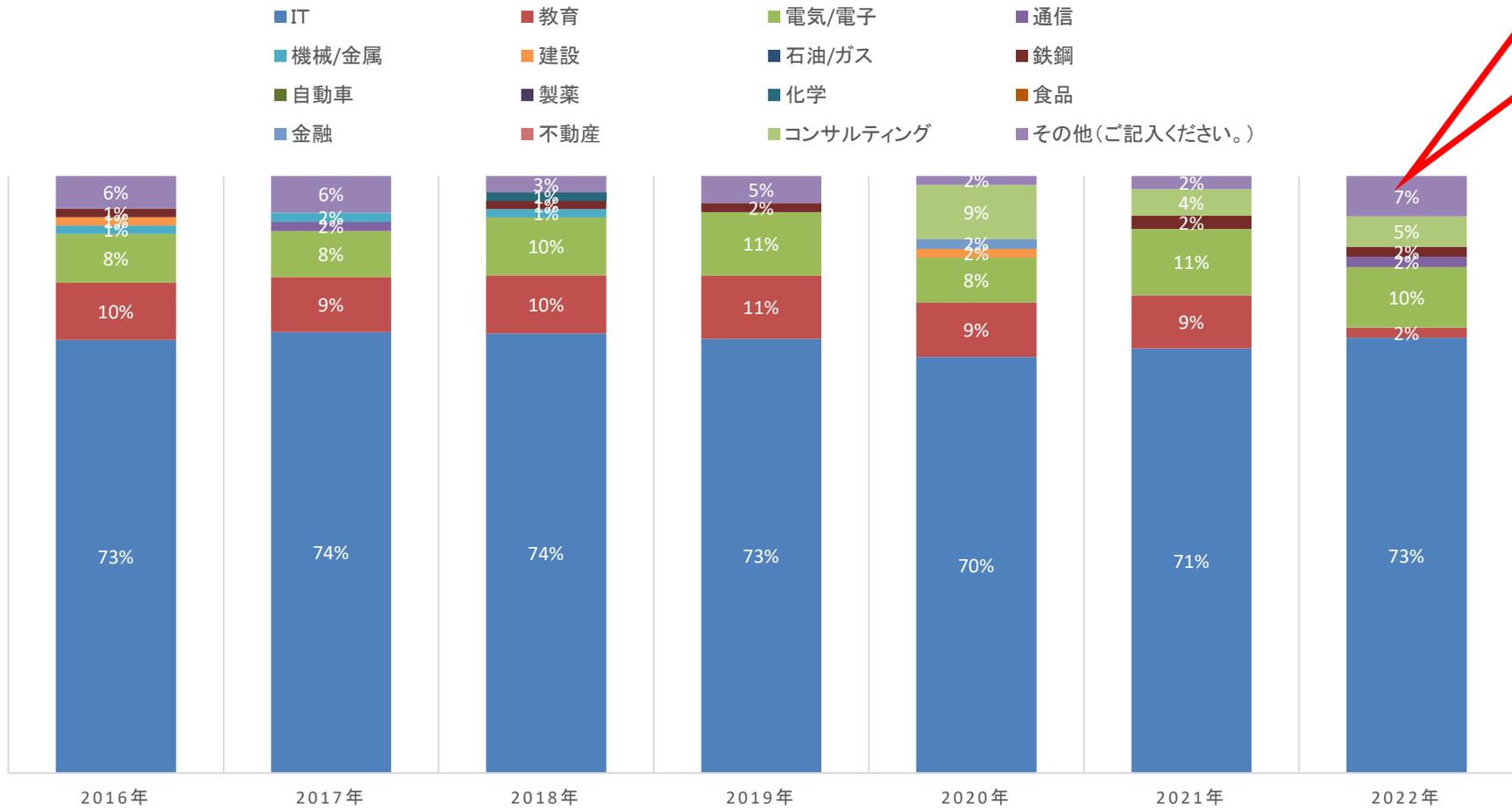
# II. 2022年度法人スポンサー・アンケートの集計結果

## Q1. 業種別構成比推移 (単位：%)

「その他」増が示すように業種の多様化の兆しが見られた

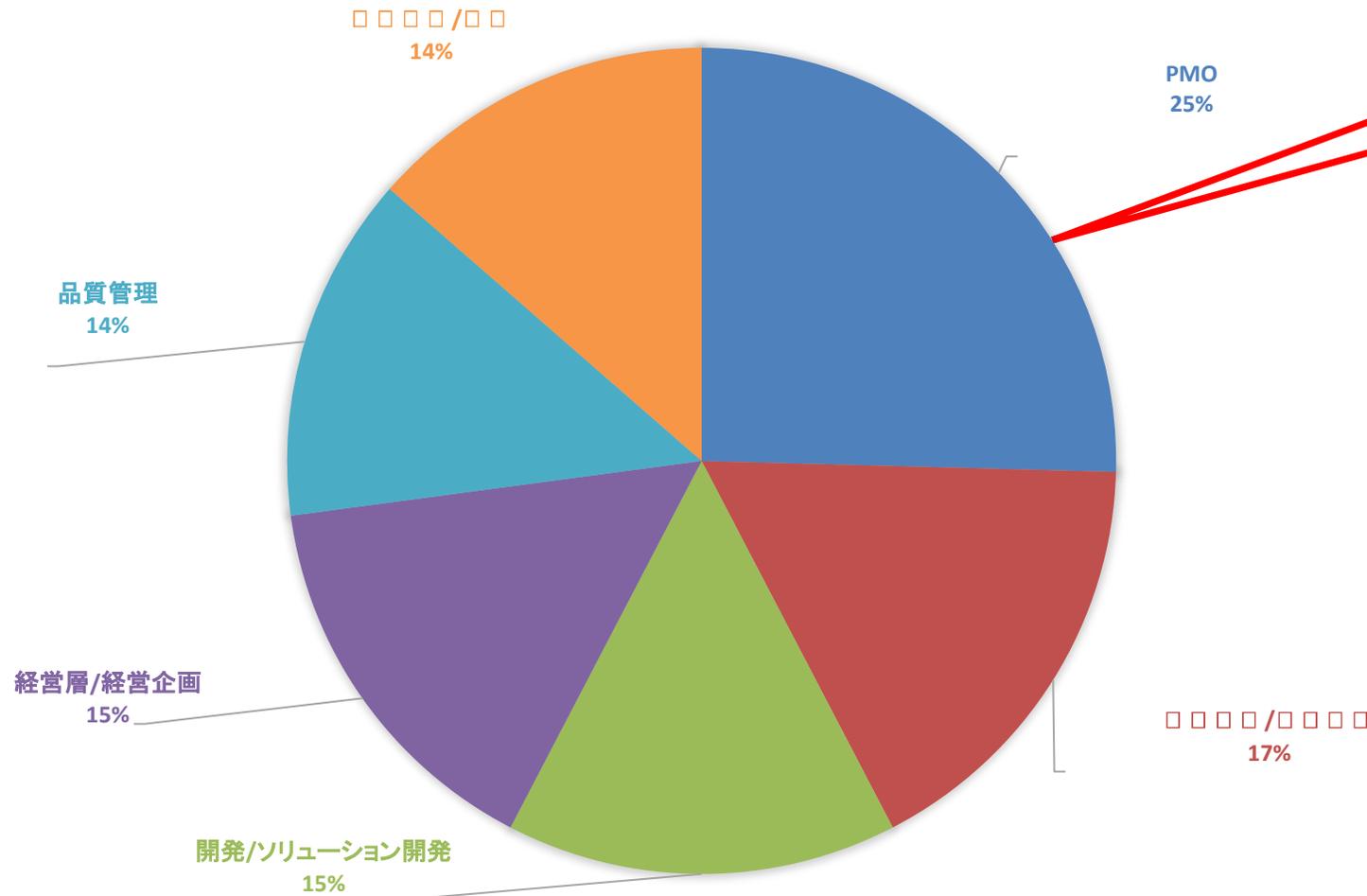
2022年度Top3  
 ①IT 73%  
 ②電気/電子 10%  
 ③コンサルティング 5%

IT企業43社内訳



その他：印刷/航空測量/精密機器/卸売

# Q3. 回答者の所属部署



前年度との比較  
プロジェクトを見る立場である  
PMO増

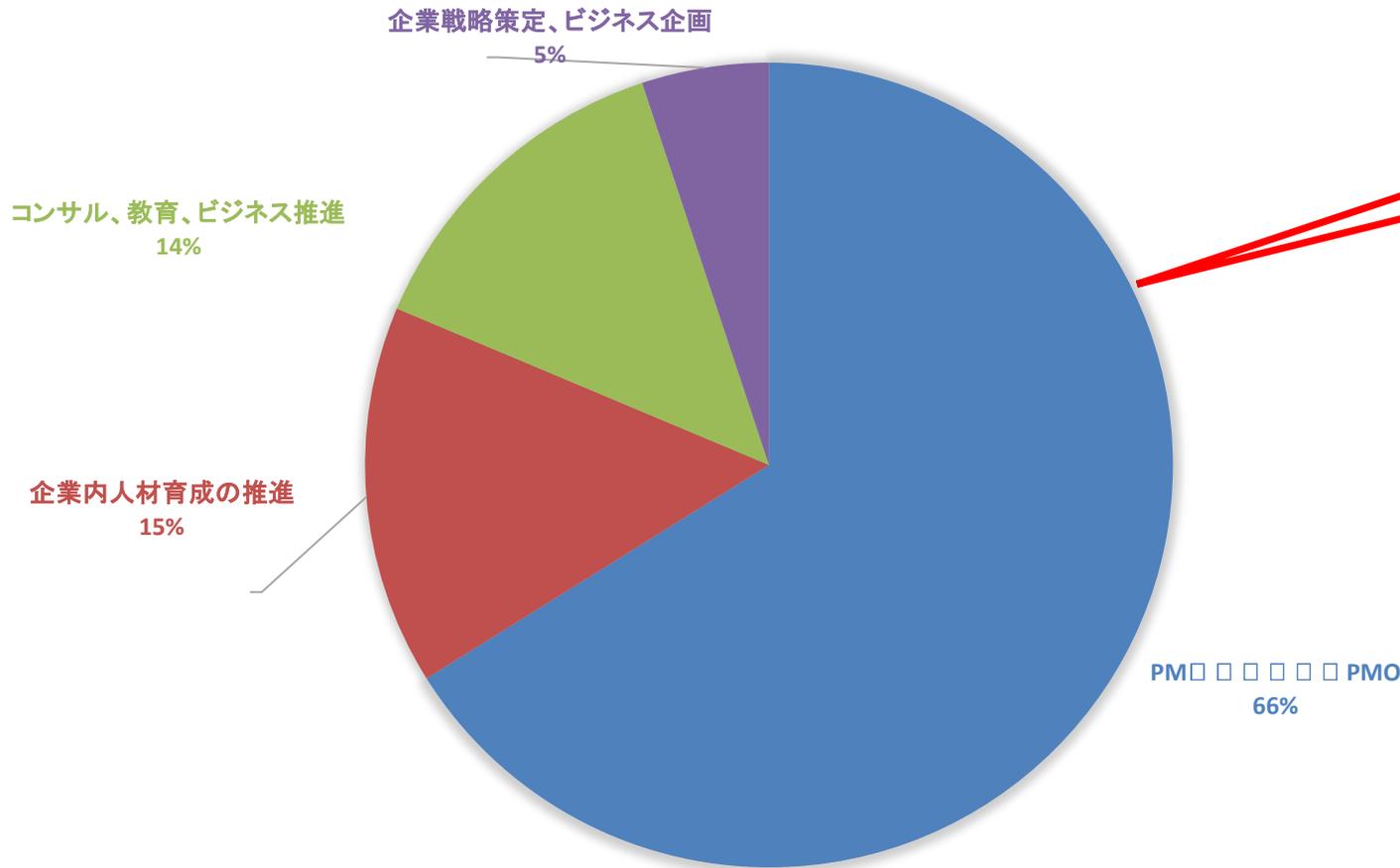
## 回答者の所属部署

①PMO	25%
②事業戦略/技術戦略	17%
③開発/ソリューション開発	15%
④経営層/経営企画	15%
⑤品質管理	14%
⑥人材開発/人事	8%

## (前年度) 回答者の所属部署

①開発/ソリューション開発	22%
②品質管理	20%
③事業戦略/技術戦略	18%
④PMO	16%
④経営層/経営企画	16%
⑥人材開発/人事	8%

# Q4. 所属部署の主たるミッションについてご記入ください。



前年度との比較  
PM/品質管理/PMO増

所属部署のミッション

①PM/品管推進/PMO	66%
②企業内人材育成	15%
③コンサル/教育	14%
④企業戦略・ビジネス企画	5%

(前年度) 所属部署のミッション

①PM/品管推進/PMO	40%
②企業戦略・企画開発	36%
③コンサル/教育	13%
④企業内人材育成	11%

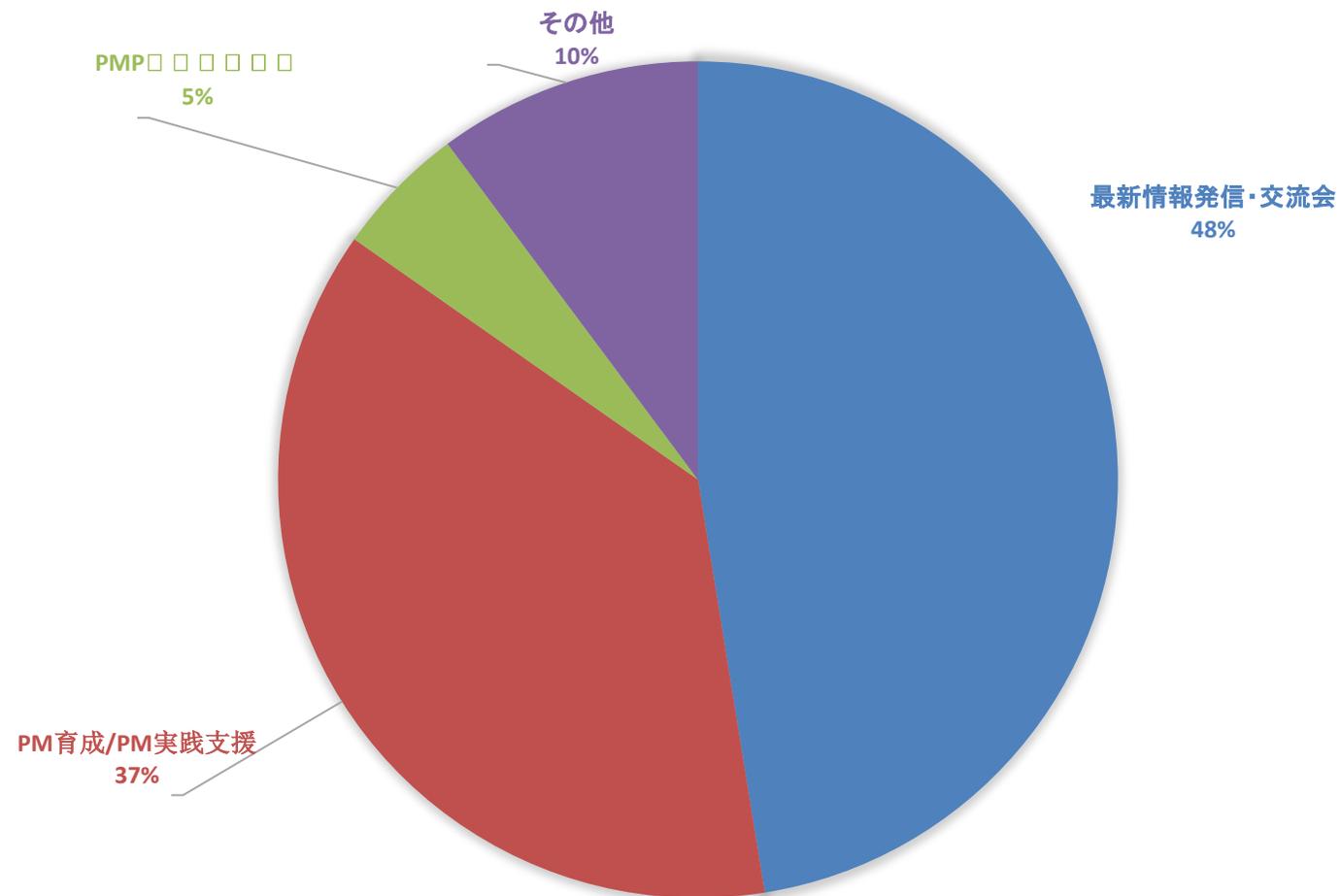


# Q5. 貴部署のミッション達成のために日本支部がどのような支援活動をしたら役立つかをご記入ください（自由記入）

- ・コンサルメンバー向けのセミナー
- ・PMP試験関連の情報発信
- ・プロジェクトマネジメント知識の提供
- ・最新情報やセミナー情報の提供
- ・PM人材育成のための情報提供
- ・PM標準の展開とPMPを取得するためのコンテンツの提供
- ・PMに関する情報提供
- ・他社事例の展開
- ・世界・国内を問わず、プロジェクトマネジメントに関する標準、ノウハウ、事例、人材育成、等に関する情報共有、照会、教育機会のご提供。
- ・現在もご提供いただいておりますが、プロジェクト管理（特に品質、リスク管理）、プロマネスキルなどの最新情報のご提供やセミナーの開催が非常に役立っております。今後も引き続きご提供をお願いします。
- ・中長期の企業戦略目標の推進に関するプロジェクトマネジメント事例の紹介
- ・実践力強化プログラムの提供
- ・検討中
- ・法人スポンサー会員（を含む）対象者向けの無料コンテンツ配信
- ・人材育成のためのセミナー開催、情報提供、事例紹介
- ・PMP資格の取得・維持に関する支援活動
- ・PM育成のセミナー紹介等
- ・PMおよびPMOの情報提供
- ・各方面で活躍されているマネジャーの活動情報
- ・研修の充実
- ・いままでどおりで有益と感じます。
- ・情報発信、セミナー開催
- ・プロジェクト管理、品質管理ができる人材育成のための基本情報や安価なeラーニングとプロジェクト管理、品質管理のトレンド情報。
- ・PM関連手法や考え方の最新動向紹介、書籍紹介
- ・PM,PMO人材育成支援
- ・同業他社の人材育成事例紹介
- ・弊社を通じたPM人材強化
- ・PM教育活動内容の展開
- ・弊社サービスの宣伝機会の提供

- ・PM人材育成、ナレッジ提供
- ・PM関連の教育、事例紹介等
- ・会員の方との交流の機会を頂ける事
- ・最新PM情報の展開、人的な交流機会
- ・生産技術に関する各種技術、動向の情報をいただけると助かります。
- ・品質に関する情報提供
- ・弊社人材が他社様と交流できる場をより充実させて頂けるとありがたいです（各種研究会のようなカテゴリーを想定しますが、もう少し若手向けのコミュニティが欲しい）
- ・各種情報提供
- ・数値に基づく情報のご提供を期待します。
- ・一般的に全社PMOが提供する機能に関する資料が欲しいと思っています。
- ・国内外のPMの事例等の紹介
- ・PMやPMOの価値向上に向けたキャリア形成。人的資本という観点でのプロジェクトマネジメントのあるべき姿。
- ・社内標準の文書化と普及活動
- ・各社事例の共有
- ・世の中の動向に対する情報提供
- ・業界最新動向のご紹介、IT業界以外の講演等
- ・プロジェクトマネジメント最新動向の発信
- ・PMの育成施策を効果的に運営するための情報提供等支援
- ・アジャイル開発の知識共有と実践
- ・情報提供
- ・エンタープライズPMOに関する情報発信・共有の場設定
- ・プロジェクトマネジメントに関する教育機会の提供
- ・事例の紹介、ワークショップの機会
- ・社外(他企業)の情報提供
- ・PM/PMO育成に関するガイド・コンテンツ提供
- ・PM人材育成のノウハウの共有。プロジェクト運営ノウハウの共有。
- ・品質メトリクスの標準値や算定方法の情報提供
- ・現状の支援活動（情報提供）を弊社・担当部門のミッション遂行に役立てています。現状の支援活動以上の部分は、個々の企業およびその業務領域、顧客に依存する事項としますので、自社で実施すべきとえます。
- ・最新情報提供、グローバル事例展開、無償セミナー開催

# Q5. 貴部署のミッション達成のために日本支部がどのような支援活動をしたら役立つかをご記入ください（自由記入を集計）



前年度との比較  
PM育成/PM実践支援の期待増

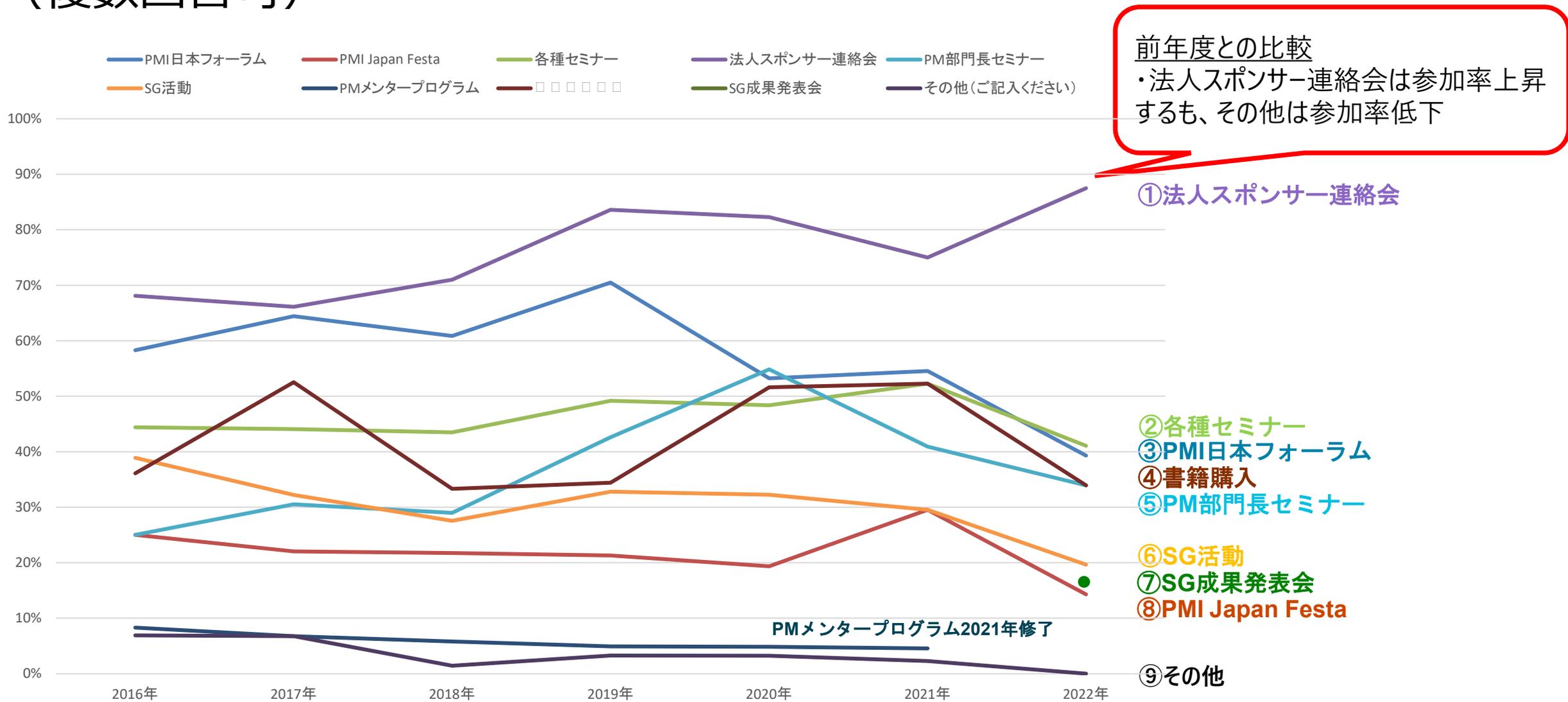
PMIJに期待する支援活動

①最新情報発信・交流会	48%
②PM育成/PM実践支援	37%
③PMP資格取得支援	5%

(前年度) PMIJに期待する支援活動

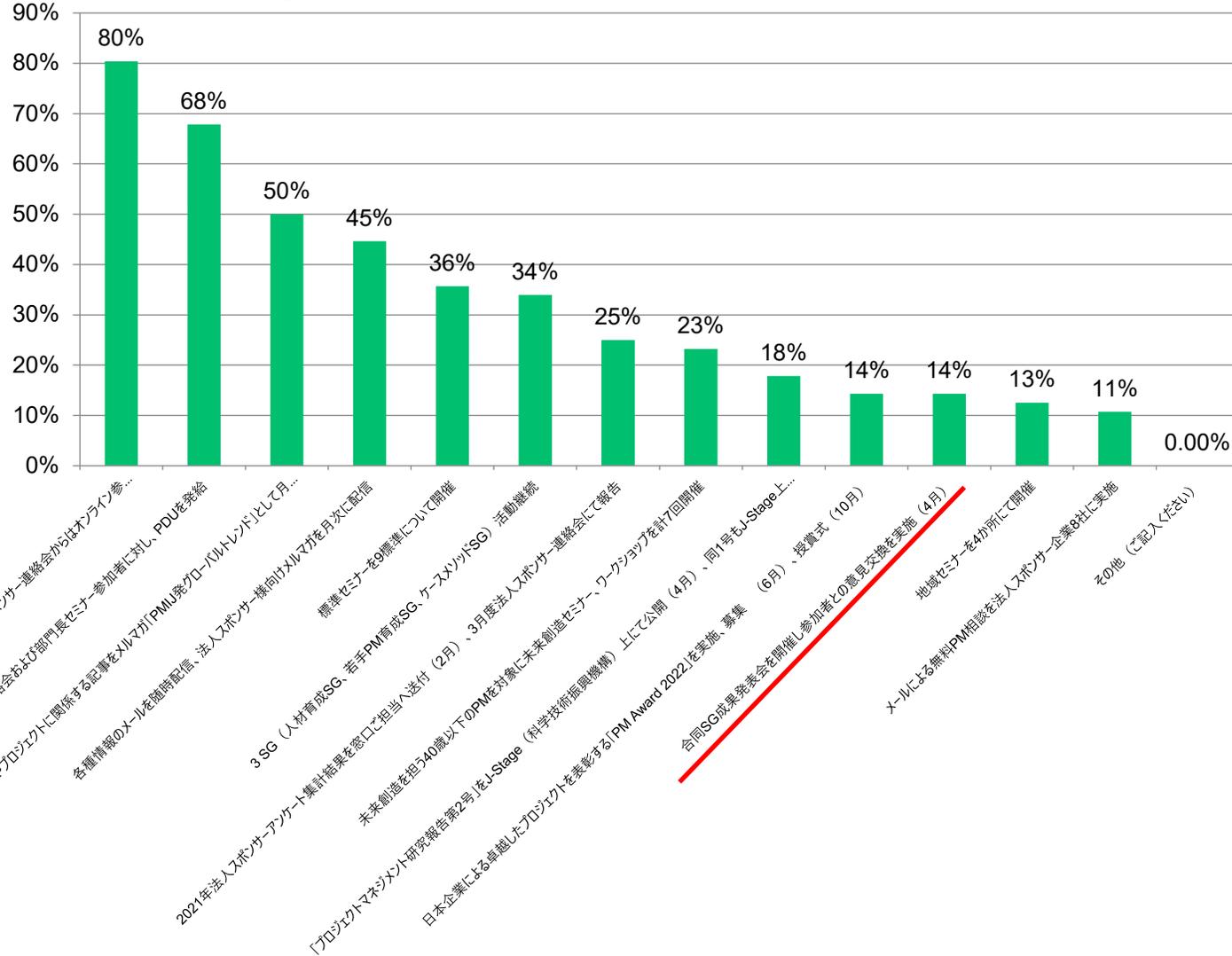
①最新情報発信・交流会	58%
②PM育成/PM実践支援	27%
③PMP資格取得支援	4%

# Q6. 貴社が活用（参加）しているプログラムは何ですか。 （複数回答可）



# Q7. 2022年度は法人スポンサー様向けに以下の施策を実施しました。

ご興味のある施策、有効だと思われる施策はどれですか。  
 (複数回答可、**赤下線今年度新規施策**)



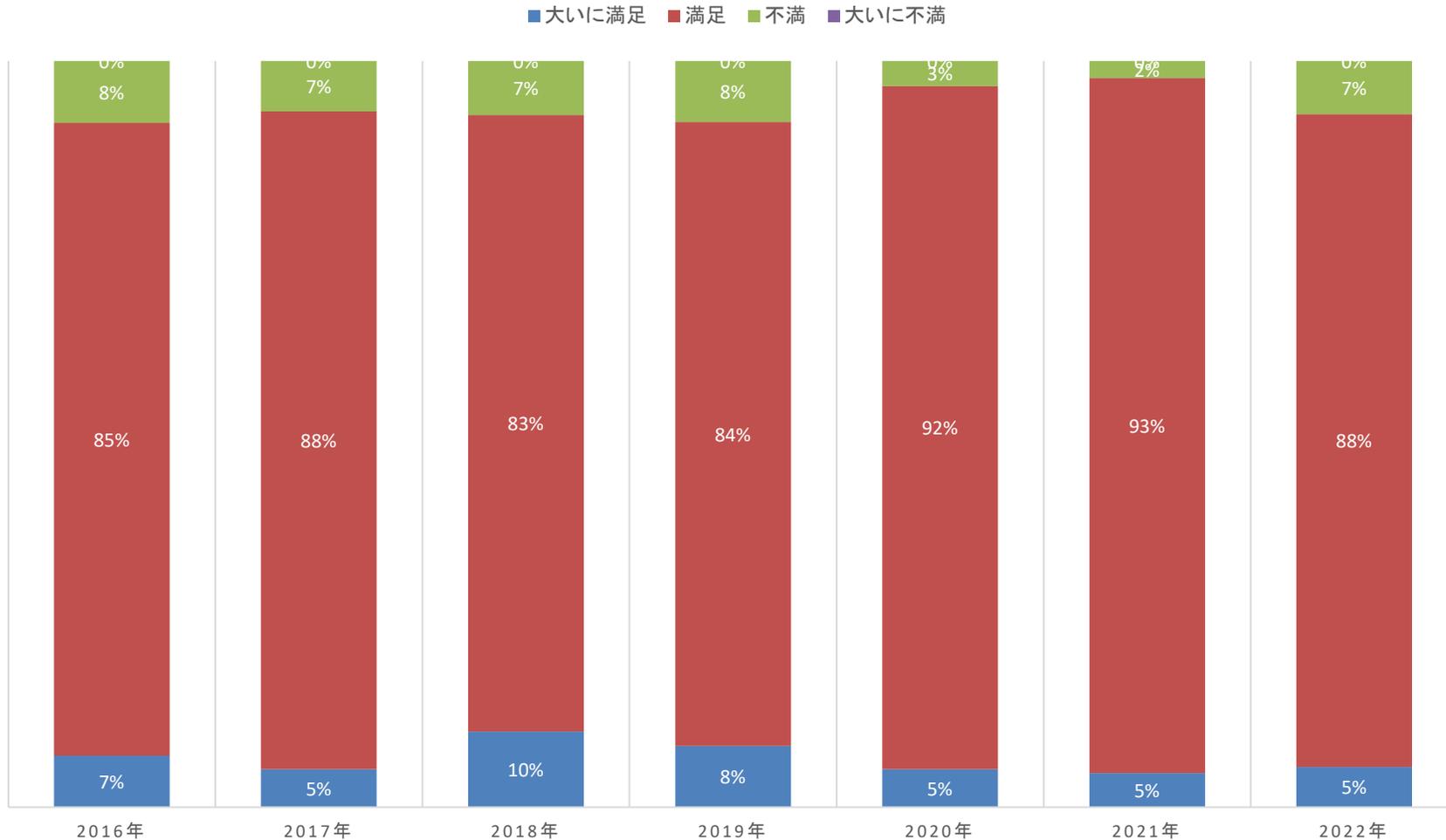
前年度との比較  
 法人スポンサー連絡会の有効度がより高まっているが、グローバルトレンド期待度増 (25%→50%)

- 有効な施策TOP 5
- ①法人スポンサー連絡会 80%
  - ②連絡会、部門長セミナー参加者にPDU付与 68%
  - ③グローバルトレンド 50%
  - ④メルマガ、各種案内 45%
  - ⑤標準セミナー 36%

- (前年度) 有効な施策TOP 5
- ①法人スポンサー連絡会 77%
  - ②連絡会、部門長セミナー参加者にPDU付与 55%
  - ③SG活動 48%
  - ④部門長セミナー 46%
  - ⑤メルマガ、各種案内 44%

回答社数 (2022年) : 56

# Q8. 法人スポンサーとしての満足度を教えてください。不満の方・大いに不満の方は満足とするためには何が不足しているか、ご記入ください。



## 前年度との比較

### 法人スポンサープログラム満足度

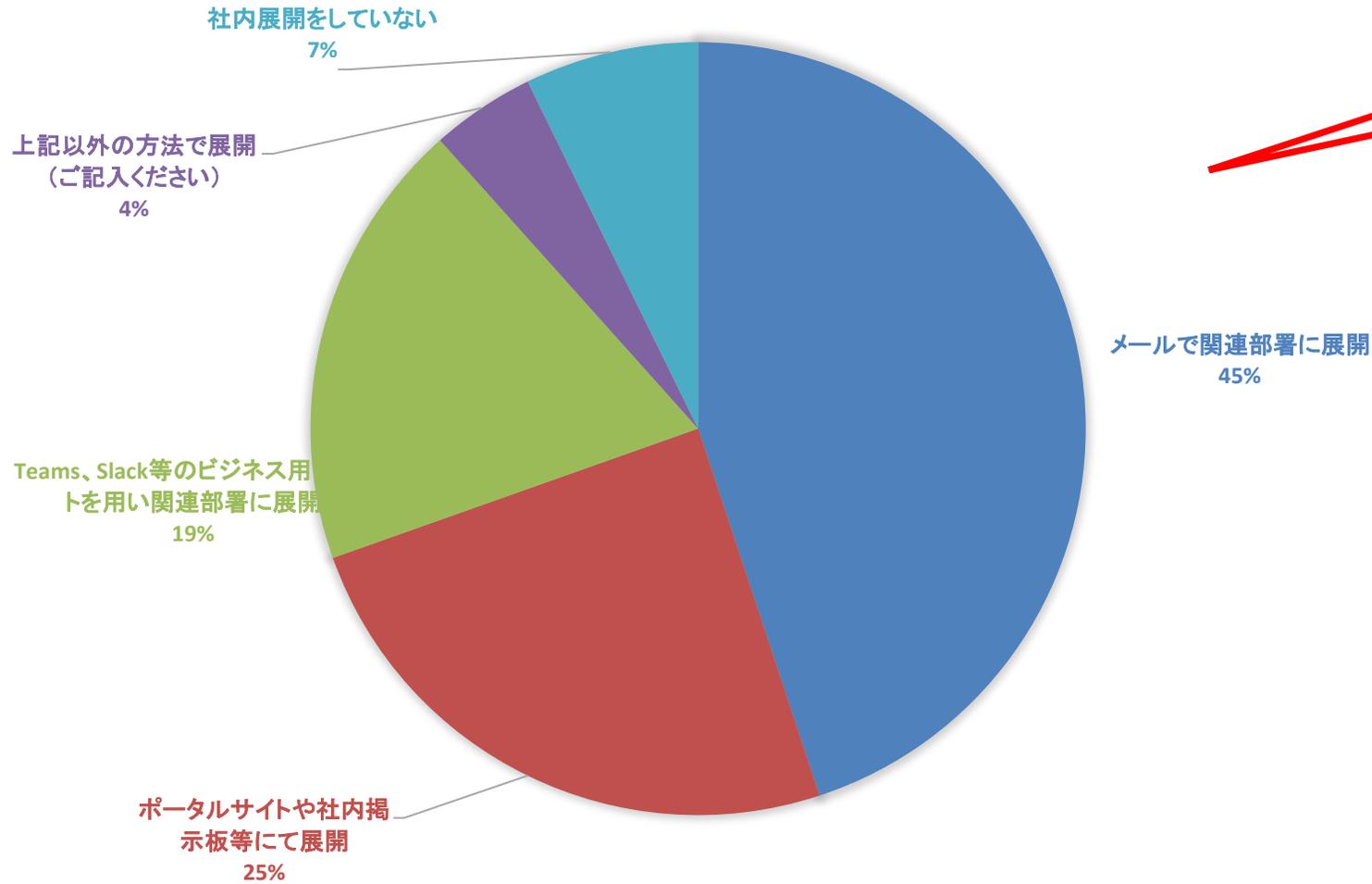
- ・ (大いに満足 + 満足) 93% (前年比-5ポイント)
- ・ (不満 + 大いに不満) 7% (前年比+5ポイント)

## 不満の理由(4)

- ①PMBOK7thの電子ファイル書籍が個人会員限りになっており、法人スポンサーとしてのメリットは若干弱いと感じた。
- ②無料のセミナーが少ない
- ③貴コンテンツの有効活用を検討中です。毎月の法人スポンサー通信を社内展開していますが、社員の反応がとても薄いです。
- ④弊社側の問題であるが、実施していただいている施策をなかなか活用(利用)出来ない。

回答社数 (2022年) : 56

# Q11. PMI日本支部から法人スポンサー様への情報提供を社内に展開されていますか。(複数回答可)



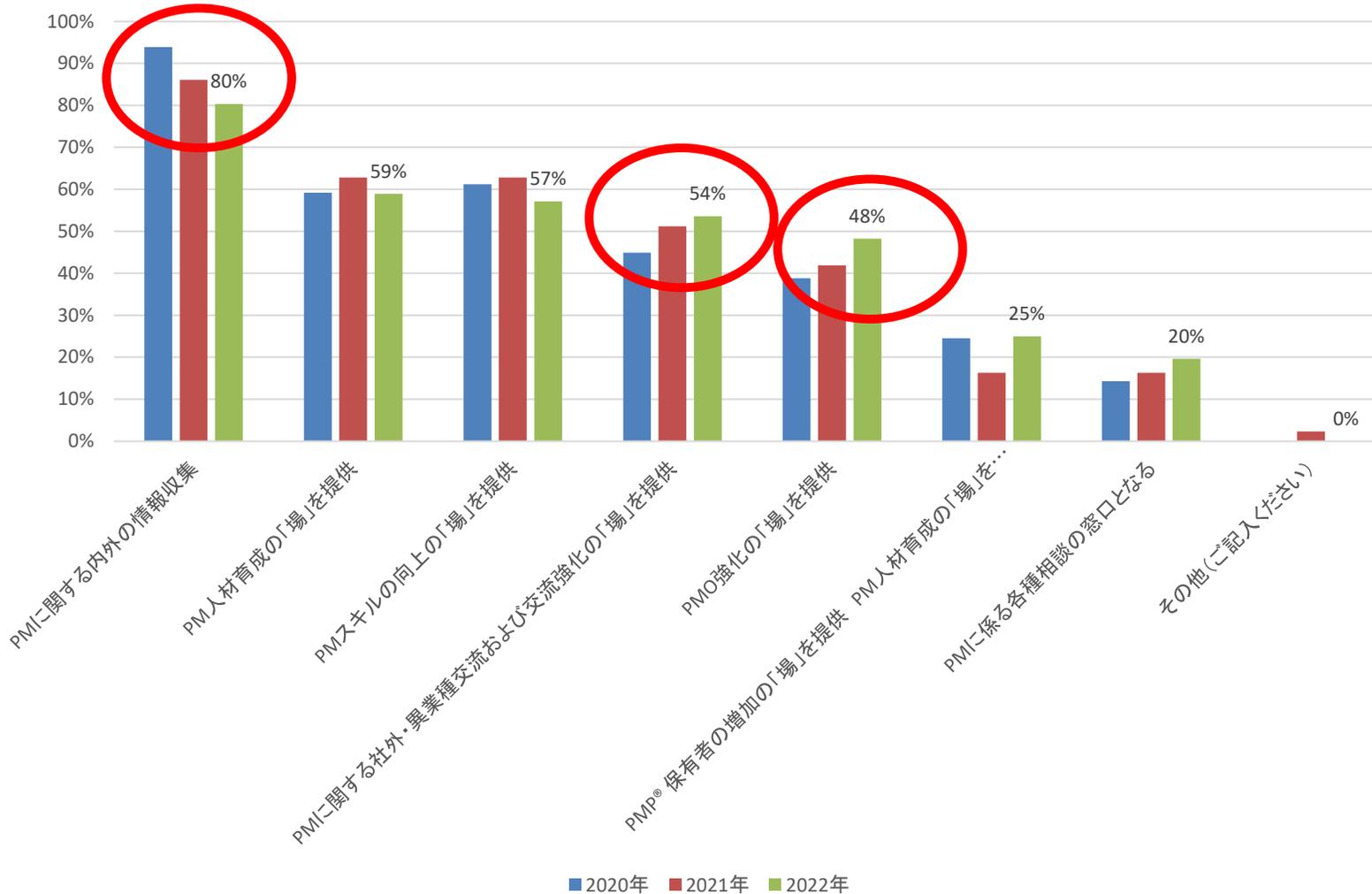
前年度との比較  
社内展開されている割合は変わらず

社内展開  
①はい 93%  
②いいえ 7%

(前年度) 社内展開  
①はい 93%  
②いいえ 7%

回答社数 (2022年) : 56

# Q12. PMI日本支部の法人スポンサープログラムに期待する項目はどれですか。 (複数回答可)



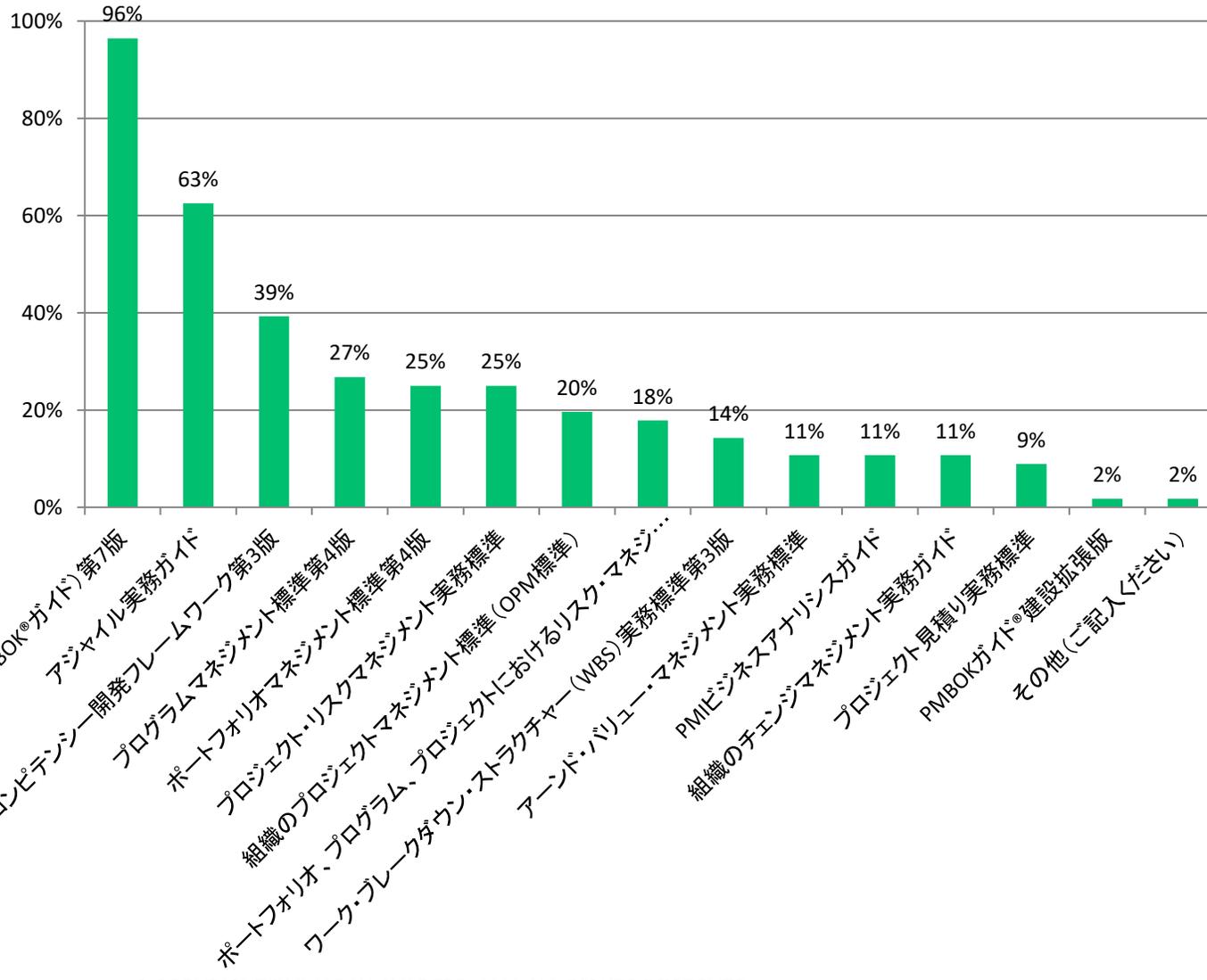
「PMに関する内外の情報収集」が最も多も「PMに関する各種交流の場」、「PMO強化の場」への期待度増

2022年度Top5

①PMに関する内外情報収集	80%
②PM人材育成の場	59%
③PMスキル向上の場	57%
④PMに関する各種交流の場	54%
⑤PMO強化の場	48%

# Q13. 貴社が興味を持っているPMI標準類は具体的にどれですか。 (複数回答可)

前年度との比較  
傾向は変わらず



関心のあるPMI標準類Top 4

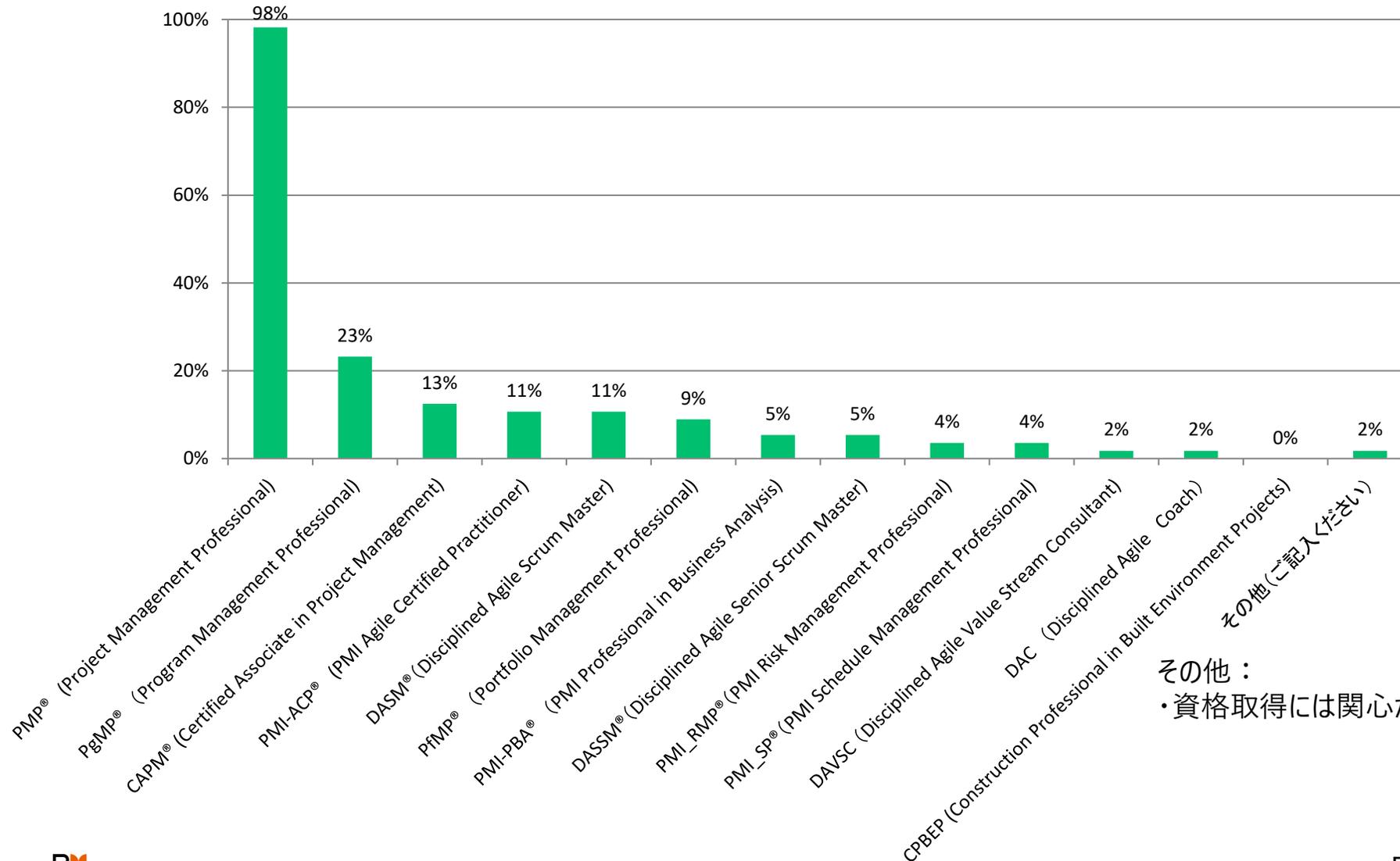
①PMBOK®	96%
②アジャイル	63%
③PMCDF	39%
④プログラムマネジメント	27%

(前年度) 関心のあるPMI標準類Top 4

①PMBOK®	95%
②アジャイル	67%
③プログラムマネジメント	40%
④プロジェクト・リスクマネジメント	37%

回答社数 (2022年) : 56

# Q14. 貴社が興味を持っているPMI資格は具体的にどれですか。 (複数回答可)



前年度との比較  
PMP®が突出、PgMP®  
関心増

関心のあるPMI資格

① PMP®	98%
② PgMP®	23%
③ CAPM®	13%
④ PMI-ACP®	11%

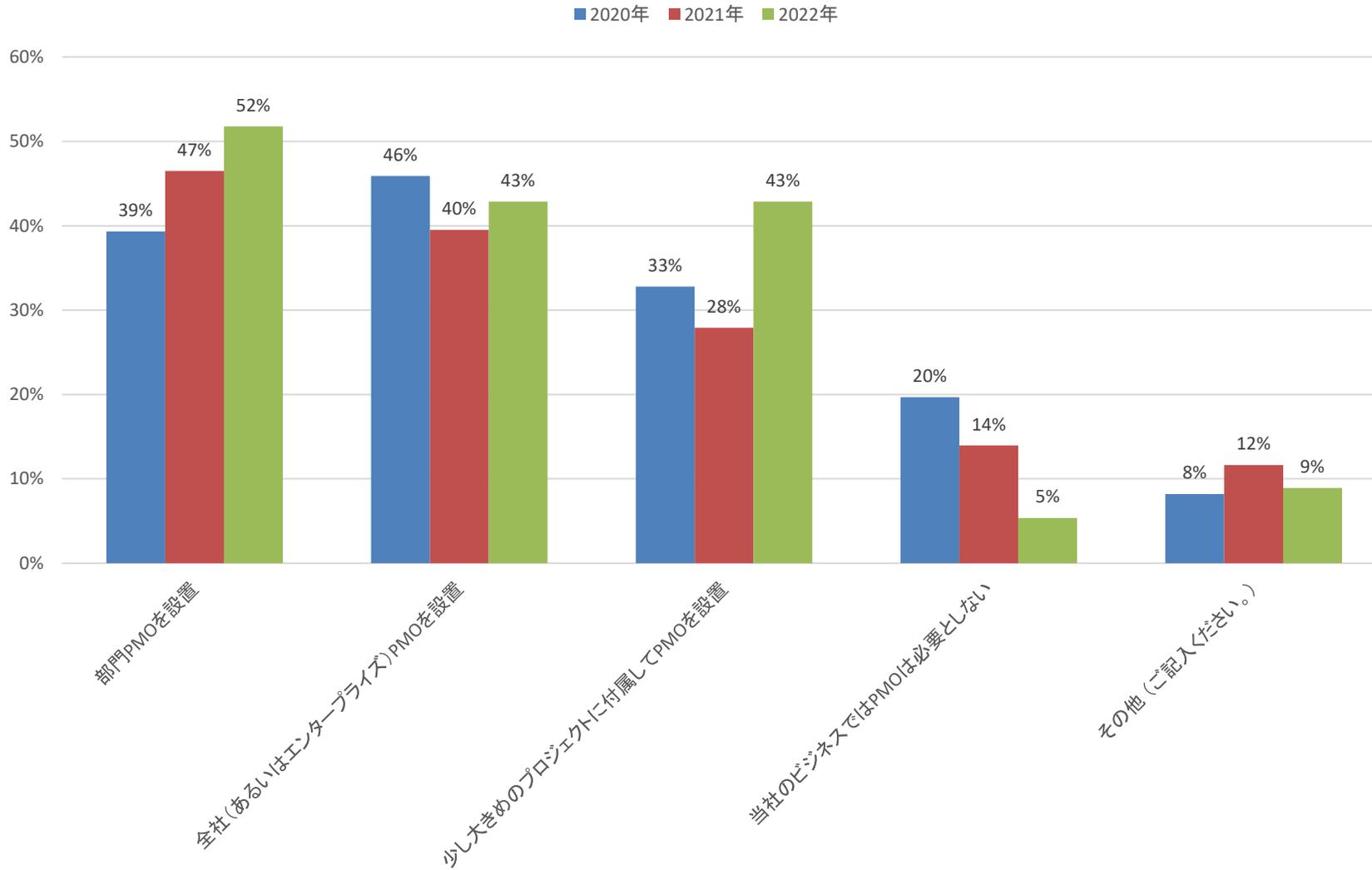
その他：  
・資格取得には関心がない

(前年度) 関心のあるPMI資格

① PMP®	95%
② PMI-ACP®	16%
③ PgMP®	14%
③ PfMP®	14%

回答社数 (2022年) : 56

# Q15. 貴社でのPMOの設置状況（複数回答可）



全社PMOに加えて部門PMO・重点プロジェクト増加

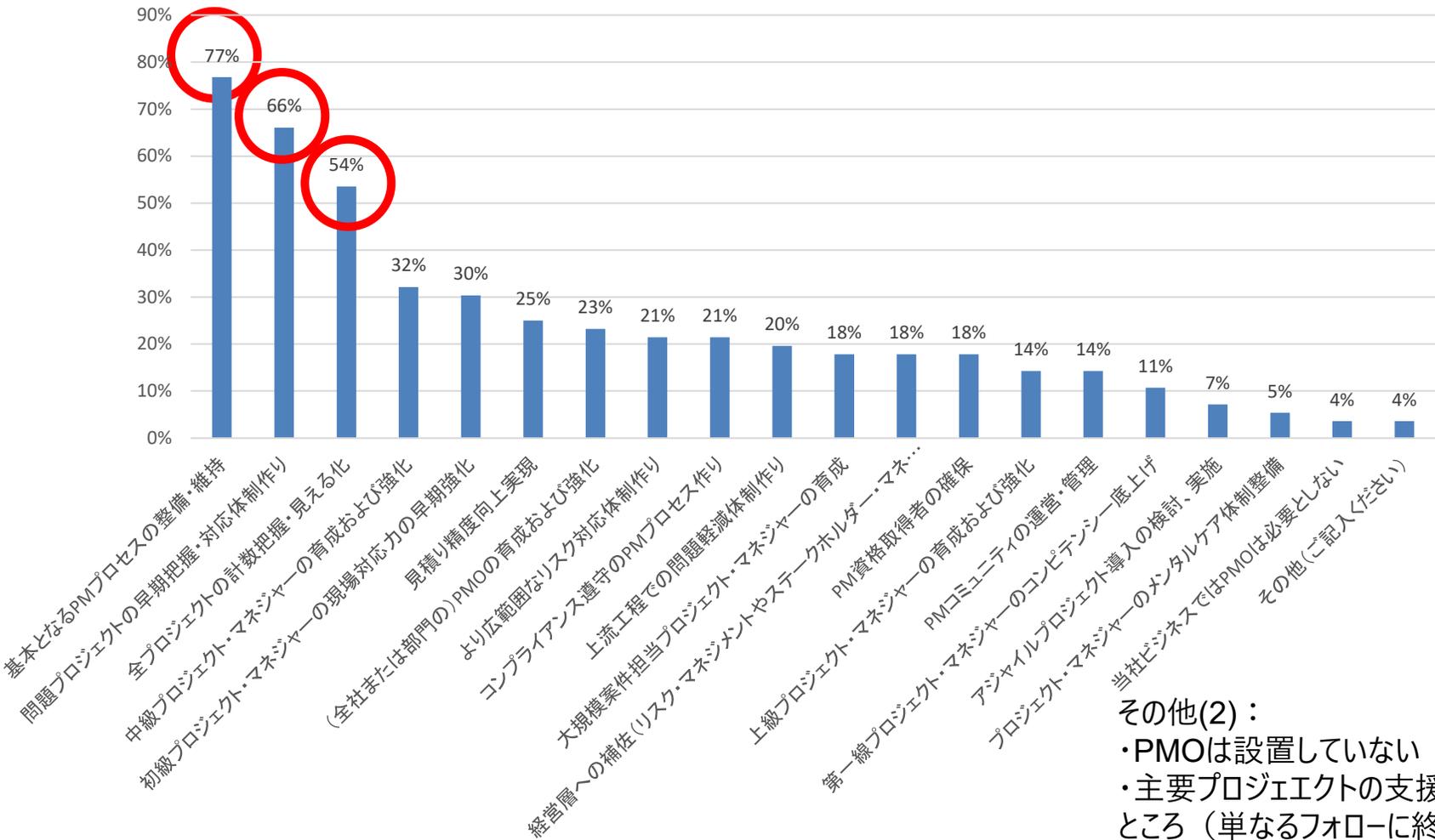
- 関心のあるPMI資格
- ①部門PMO 52%
  - ②全社PMO 43%
  - ③重点プロジェクト 43%



# Q16. PMOを設置しているとお答えいただいた方にお尋ねします。貴社PMOの役割はどれですか。（複数回答可）

前年度との比較  
「PMプロセスの整備」が大きく伸びて、「問題プロジェクト早期把握」を超える

Top3  
①PMプロセスの整備 77%  
②問題プロジェクト早期把握 66%  
③全プロジェクトの見える化 54%

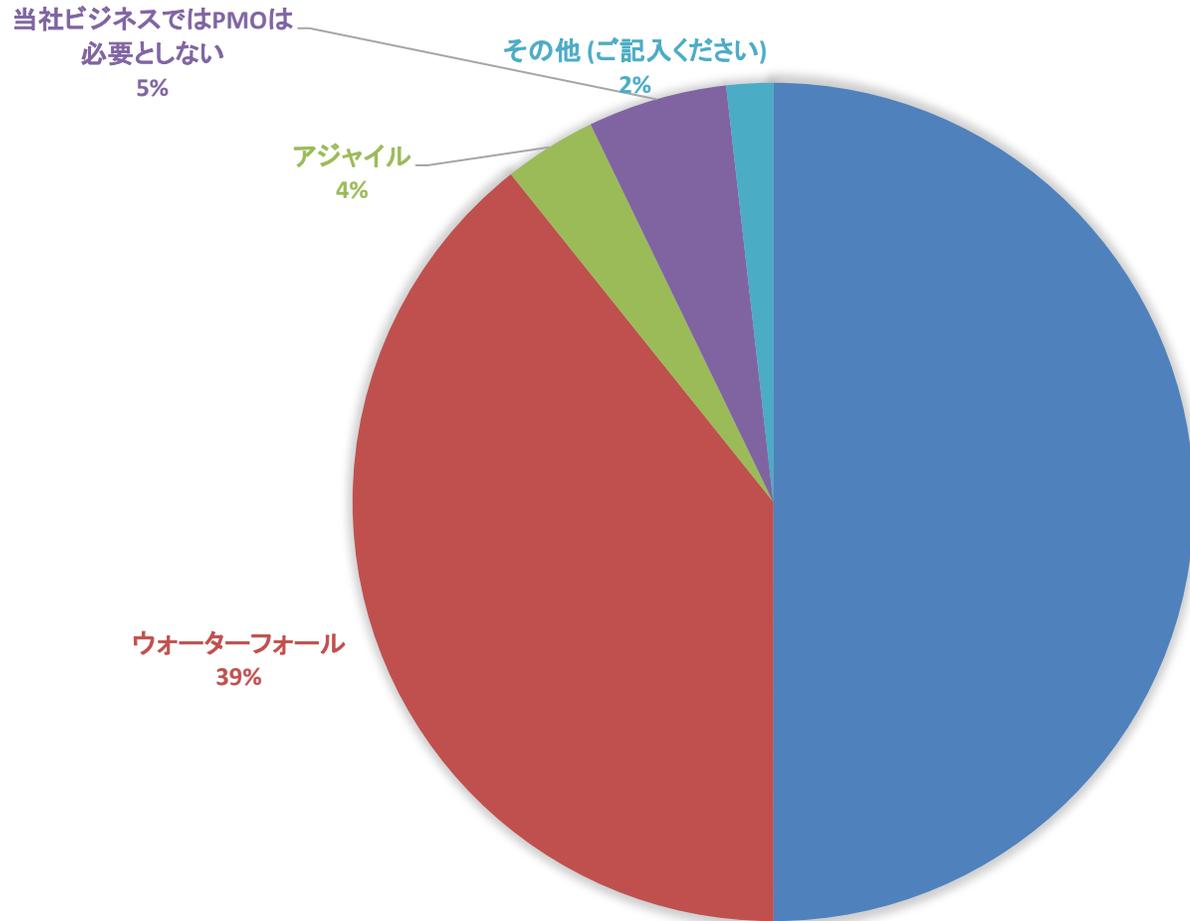


(前年度) Top3  
①問題プロジェクト早期把握 61%  
②PMプロセスの整備 54%  
③全プロジェクトの見える化 47%

その他(2):  
・PMOは設置していない  
・主要プロジェクトの支援をしたいところ(単なるフォローに終始しないようにしたい)

回答社数 (2022年) : 56

# Q17. 貴社PMOが支援／監督しているプロジェクトのタイプはどれですか。



ウォーターフォールおよびアジャイル 50%

前年度との比較  
「ウォーターフォールおよびアジャイル」が「ウォーターフォール」を上回る

Top3

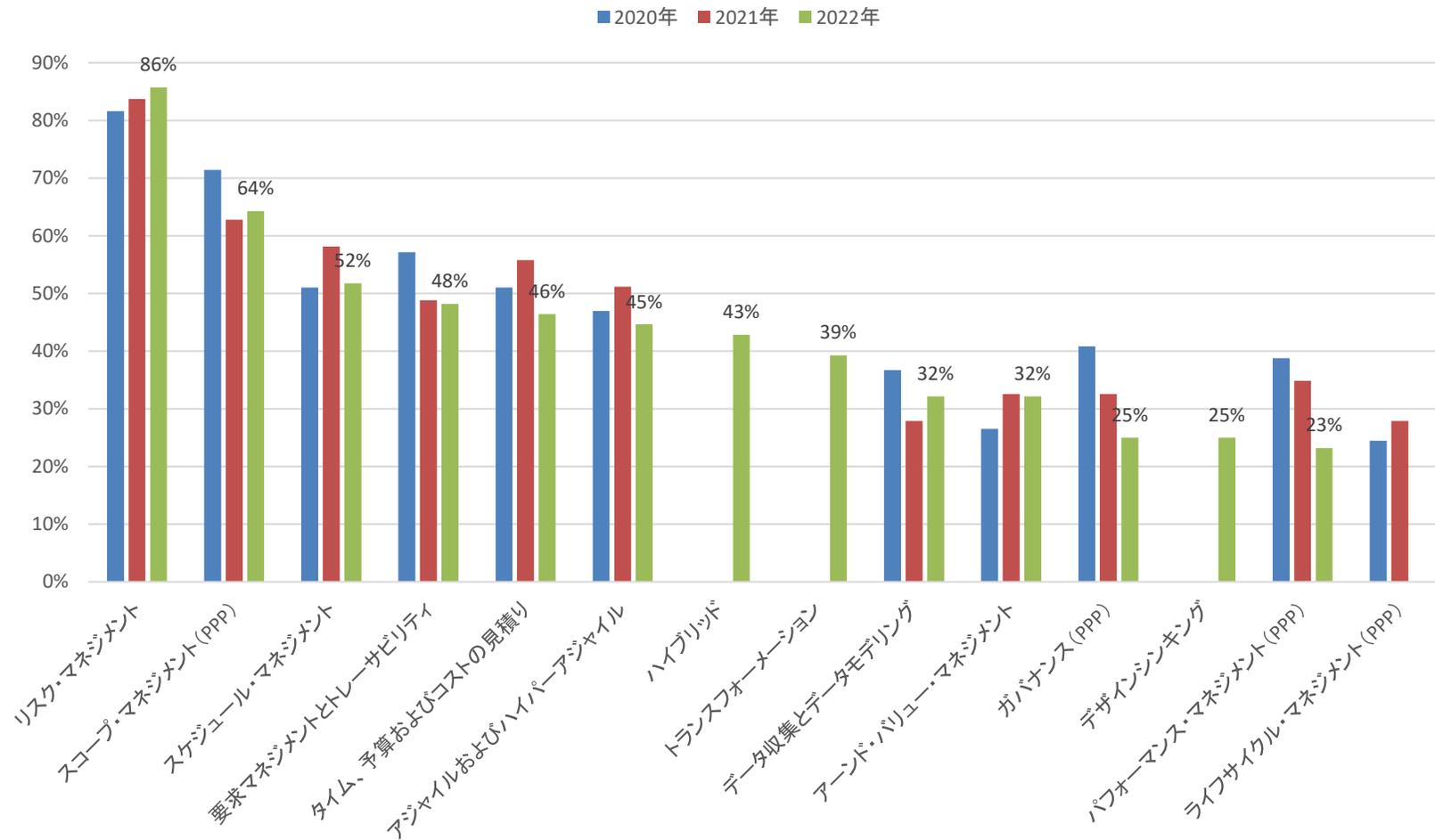
①	ウォーターフォール およびアジャイル	50%
②	ウォーターフォール	39%
③	アジャイル	4%

(前年度) Top3

①	ウォーターフォール	67%
②	ウォーターフォール およびアジャイル	30%
③	アジャイル	3%



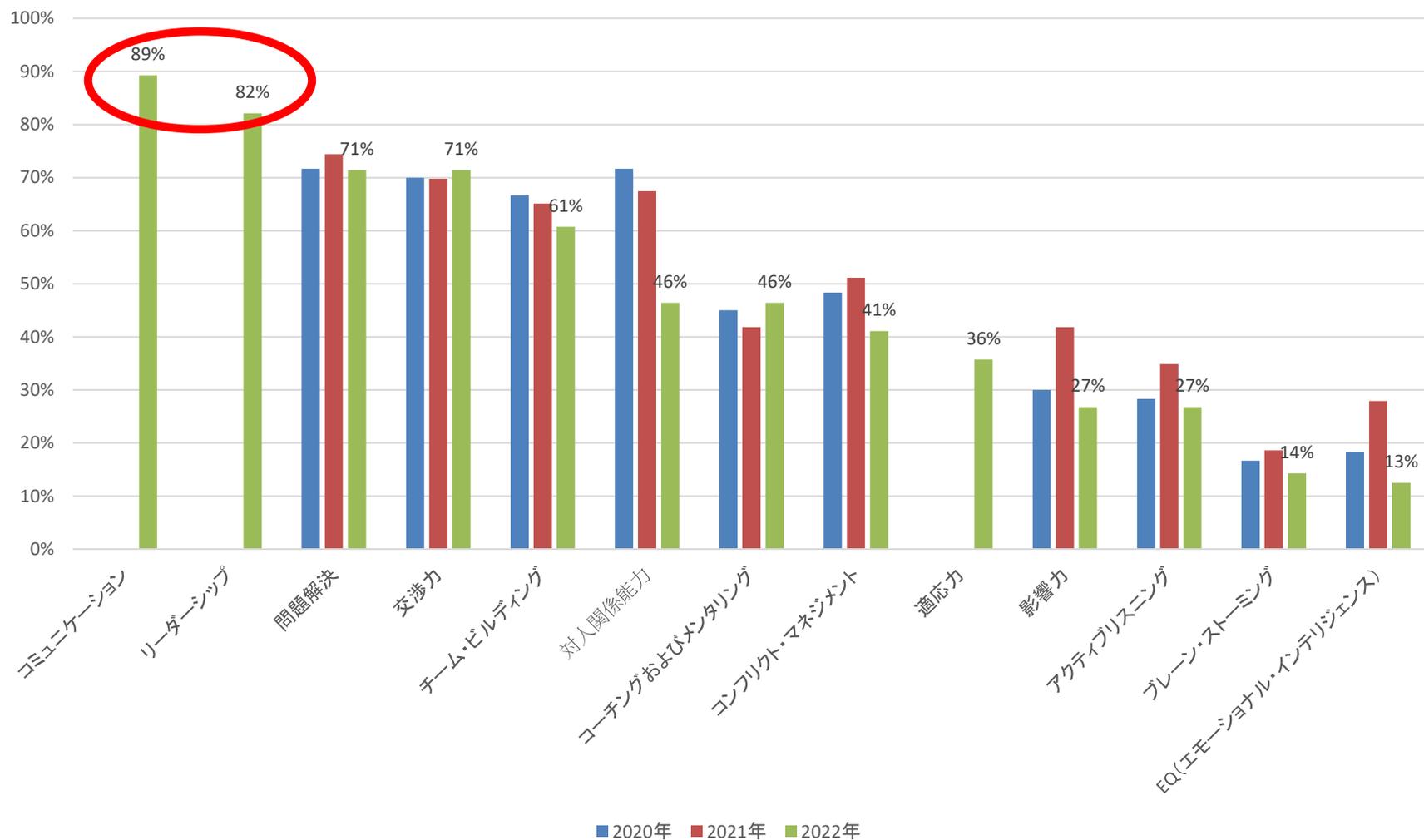
# Q18. タレント・トライアングル中の働き方領域（旧テクニカル・プロジェクトマネジメント）では、以下の項目があります。貴社では、どの項目が重要だとお考えですか？（複数回答可）



傾向は変わらず、最重要はリスク・マネジメント

- 働き方領域重要項目
- ①リスク・マネジメント 86%
  - ②スコープ・マネジメント 64%
  - ③スケジュール・マネジメント 52%
  - ④要求マネジメント・トレース 48%
  - ④タイム、予算、見積り 46%

# Q19.タレント・トライアングル中のパワースキル領域（旧リーダーシップ）では、以下の項目があります。貴社では、どの項目が重要だとお考えですか？（複数回答可）

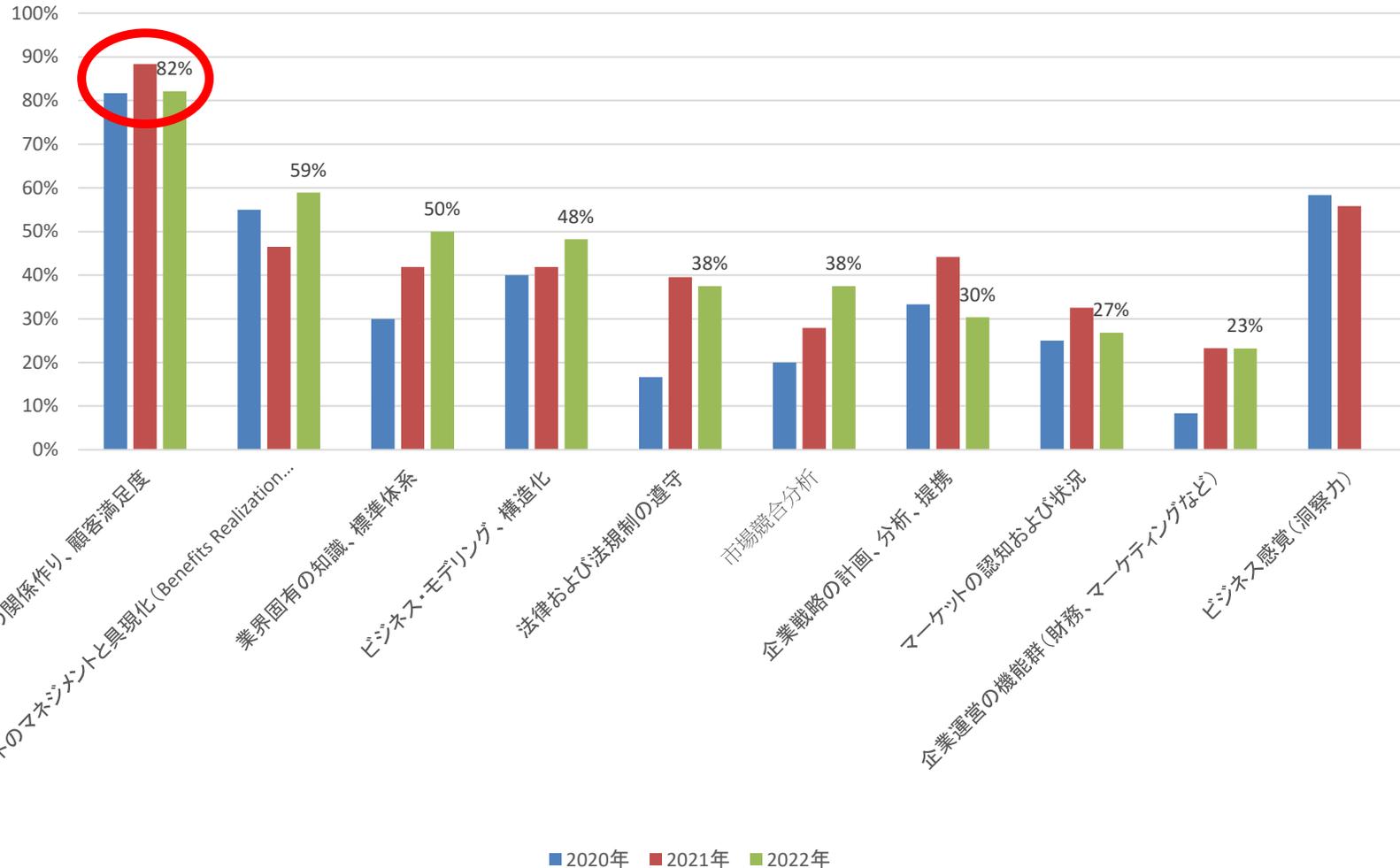


新設のコミュニケーションとリーダーシップを最重要視

- パワースキル領域重要項目
- ① コミュニケーション 89%
  - ② リーダーシップ 82%
  - ③ 問題解決 71%
  - ④ 交渉力 71%
  - ⑤ チーム・ビルディング 61%



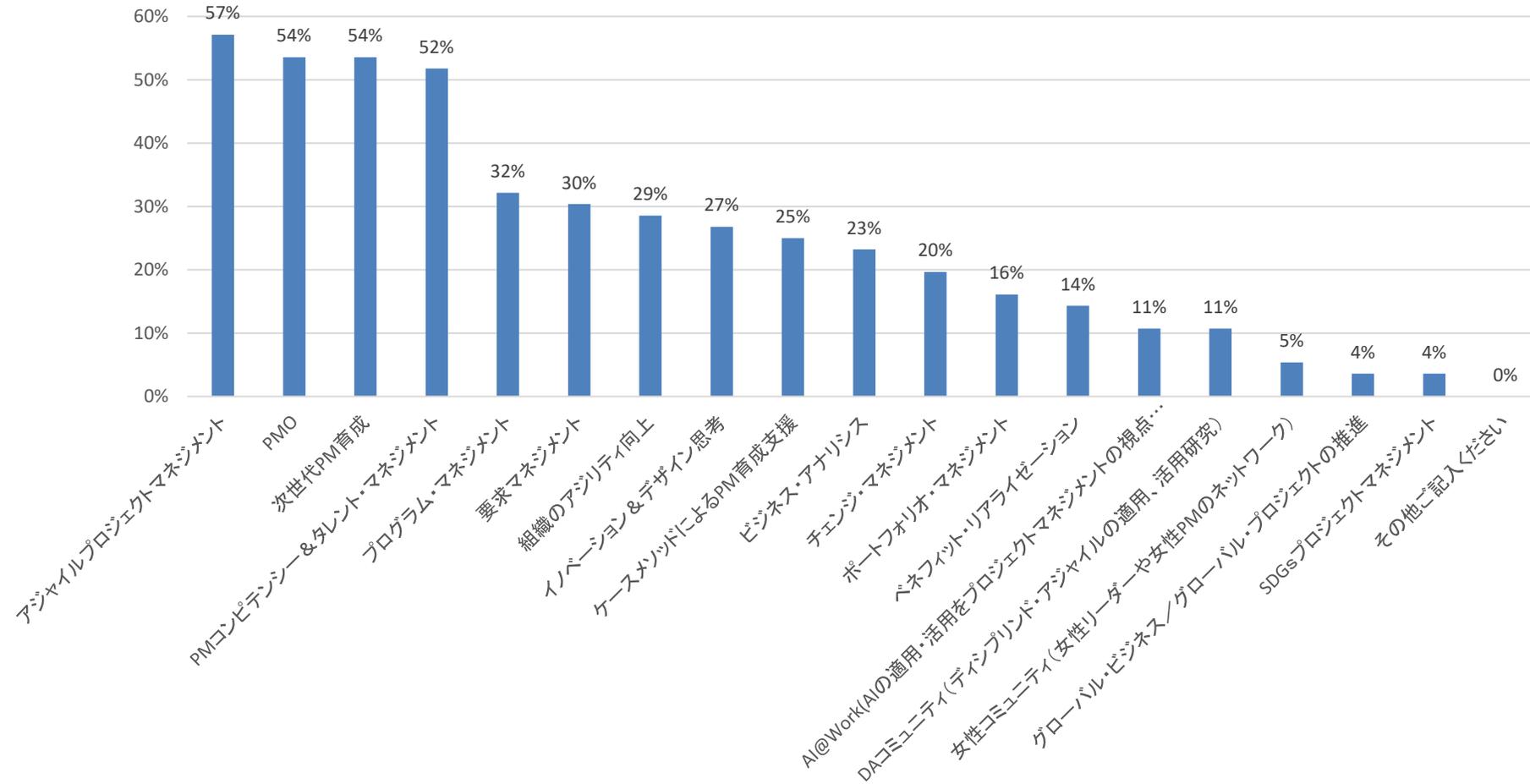
# Q20. タレント・トライアングル中のビジネス感覚領域（旧戦略およびビジネスのマネジメント）では、以下の項目があります。貴社では、どの項目が重要だとお考えですか？（複数回答可）



前年度に続き、顧客満足度を最重要視

- ビジネス感覚領域重要項目
- ①顧客満足度 82%
  - ②ベネフィットマネジメント 59%
  - ③業界固有の知識 50%

# Q21. PMIおよびPMI日本支部がフォーカスしているホットなエリアは下記のとおりです。貴社がフォーカスしたいエリアはどれですか。(複数回答可)



前年度と傾向はほぼ変わらず

2022年度注目ホット領域

- ①アジャイル 57%
- ②PMO 54%
- ③次世代PM育成 54%

(前年度) 注目ホット領域

- ①アジャイル 58%
- ①次世代PM育成 58%
- ③PMO 51%

回答社数 (2022年) : 56



# Ⅲ. 2023年度法人スポンサープログラムへの反映 (1/5)

## ① アンケート集計から明らかになった要望・期待

設問	要望・期待				
Q5 望むサポート	最新情報発信 望むサポート	交流会 望むサポート	PM育成/PM実践支援 望むサポート		各種最新情報提供
Q7 2022年度施策	世界のPMの動向 2022年度施策				人的交流
Q12 プログラムへの期待	内外情報収集 プログラムへの期待	人材育成 プログラムへの期待	スキル向上 プログラムへの期待	PMに関する各種交流 プログラムへの期待	PMBOK®
Q13 関心あるPMI標準	PMBOK® 関心あるPMI標準	アジャイル 関心あるPMI標準	PMCDF 関心あるPMI標準	PMO強化 プログラムへの期待	アジャイル
Q14 関心あるPMI資格	PMP® 関心あるPMI資格				PM人材育成
Q18 働き方領域	リスク 働き方領域	スコープ 働き方領域			経営者視点
Q19 パワースキル領域	コミュニケーション パワースキル領域	リーダーシップ パワースキル領域	問題解決 パワースキル領域	交渉力 パワースキル領域	
Q20 ビジネス感覚領域	顧客満足度UP ビジネス感覚領域	ベネフィットマネジメント ビジネス感覚領域			
Q21 ホット領域	アジャイル ホット領域	PMO ホット領域	次世代PM育成 ホット領域	PMコンピテンシー ホット領域	

# Ⅲ. 2023年度法人スポンサープログラムへの反映 (2/5)

## ②要望・期待をキーワードで整理

キーワード	要望・期待				
各種最新情報提供	最新情報発信 望むサポート	世界のPMの動向 2022年度施策	内外情報収集 プログラムへの期待		
人的交流	交流会 望むサポート	PMに関する各種交流 プログラムへの期待			
PMBOK®	PMBOK® 関心あるPMI標準	PMP® 関心あるPMI資格	リスク 働き方領域	スコープ 働き方領域	
アジャイル	アジャイル 関心あるPMI標準	アジャイル ホット領域			
PM人材育成	PM育成/PM実践支援 望むサポート	人材育成 プログラムへの期待	スキル向上 プログラムへの期待	PMCDF 関心あるPMI標準	コミュニケーション パワースキル領域
	リーダーシップ パワースキル領域	問題解決 パワースキル領域	交渉力 パワースキル領域	次世代PM育成 ホット領域	PMコンピテンシー ホット領域
経営者視点	顧客満足度UP ビジネス感覚領域	ベネフィットマネジメント ビジネス感覚領域	PMO強化 プログラムへの期待	PMO ホット領域	

各種最新情報提供
人的交流
PMBOK®
アジャイル
PM人材育成
経営者視点

## Ⅲ. 2023年度法人スポンサープログラムへの反映 (3/5)

### ③要望・期待実現のための具体策

項番	キーワード	手段	施策	内容
1	各種最新情報提供	連絡会「特集」	3月度連絡会の「特集」	PMI Global情報
2	経営者視点	連絡会「特集」	6月度連絡会の「特集」	PMO
3	PM人材育成	連絡会「特集」	9月度連絡会の「特集」	人材育成
4	PMBOK®	連絡会「特集」	12月度連絡会の「特集」	プロセス群プラクティスガイド
5	人的交流	対面型「連絡会」	6月度・12月度連絡会を「サロン形式」実会場で開催	6月：情報交換会、懇親会 12月：SG報告会、情報交換会、懇親会
6	PM人材育成	SG活動	SG体験会	2022年度SG成果発表会からの発展企画

# Ⅲ. 2023年度法人スポンサープログラムへの反映 (4/5)

## ④2023年度実施プログラム

コロナの状況により開催形態等が変更となる可能性があります。

6月以降の日付・特集については会場・講師の都合で変更となる可能性があります。

2023年度	法人スポンサー連絡会				SG活動
実施日	3月度連絡会 3/29 (水)	6月度連絡会 6/20 (火)	9月度連絡会 9/19 (火)	12月度連絡会 12/21 (木)	x/xx (x) ※2Q/3Q
開催形態	オンライン開催	実会場使用	オンライン開催	実会場使用	オンライン開催
参加対象	PMO、PM部門 PM育成部門 PM関係者	PM関連部門長	PMO、PM部門 PM育成部門 PM関係者	PMO、PM部門 PM育成部門 PM関係者	PMO、PM部門 PM育成部門 PM関係者
申込定員	200名	80名	200名	80名	50名
特集内容	PMI Global情報	PMO、情報交換会、 懇親会	人材育成	プロセス群プラクティスガイド、SG報告会、情報交換会、懇親会	PM人材育成

# Ⅲ. 2023年度法人スポンサープログラムへの反映 (5/5)

新型コロナの影響により変更があり得ます



法人スポンサープログラムに関する  
ご質問はPMI日本支部/事務局  
[info@pmi-japan.org](mailto:info@pmi-japan.org)  
までお願いします